

寄贈記念特別展

「浪花名所図屏風」

—「天下の台所」大坂の名所と風景—

2015年に発見された「浪花名所図屏風」。関西大学なにわ大阪研究センターが調査・研究を行い、成果発信を行ったことで、オーストリア・エッゲンベルク城の「豊臣期大坂図屏風」と並んで、あらたに大坂の「名所図屏風」の仲間入りを果たしたこの屏風が、昨年度、本学へ寄贈されました。

六曲一双の本屏風は、大阪市中の名所100カ所余を鳥瞰図的に描いた作品であることから、「浪花名所図屏風」と名付けられましたが、類例の無い名所図屏風です。そこには、大坂城や大川・四天王寺・天満宮など定番である名所に加えて、料亭「浮瀬」や雑喉場といった新しい名所が多数、描かれています。安治川沖に停泊する菱垣廻船や浮かぶ川船は、「天下の台所」大坂を象徴しています。

絵師は不明ですが、描かれているのは19世紀初めの都市大坂。「摂津名所図会」「浪花名所独案内」など、各種のガイドブックが作られ、大坂がたくさんの旅行者で賑わっていた時代です。2025年の関西万博に向けて、インバウンドで賑わう大阪の原風景ともいえるでしょう。

この度、関西大学なにわ大阪研究センターでは、寄贈記念として特別展を開催いたします。

江戸時代後期の大坂にタイムスリップするとともに、「本物」の持つ味わいをお楽しみください。

2024.10/21(月)～10/31(木) 土日休

12:00～16:00

入場無料

<特別企画 ギャラリートーク>

10月28日(月) 13:30～14:30

「浪花名所図屏風」

—「天下の台所」大坂の名所と風景—

関西大学名誉教授 藪田 貴

定員50人

(事前予約制。なにわ大阪研究センターサイトでご案内します)



(屏風 左隻)

関西大学

なにわ大阪研究センター

〒564-8680

吹田市山手町 3-3-35

[お問合せ]

e-mail:naniwa-osaka@ml.kandai.jp

tel.06-6368-0095

